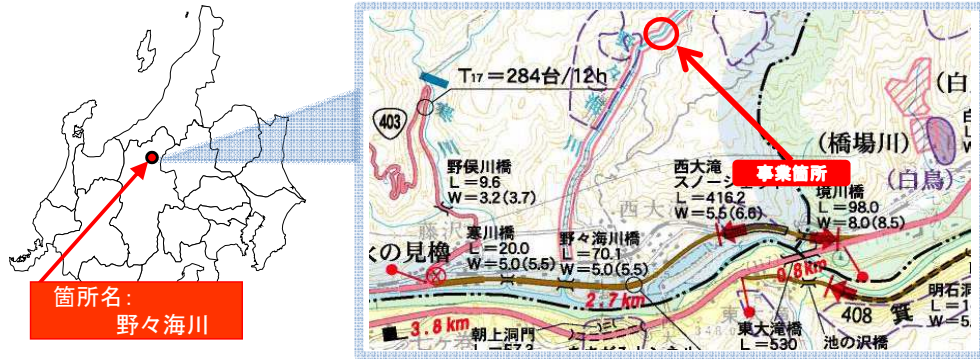


整備効果事例

事例① 砂防事業 野々海川 飯山市 照岡

位置図



整備効果

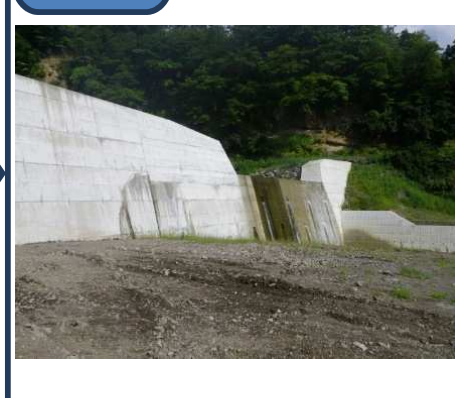
説明:野々海川の照岡砂防堰堤(S41竣工)は断面欠損や亀裂等の損傷が著しく、土石流発生時には崩壊の恐れがあるため、長寿命化修繕計画に基づく緊急改築事業を実施して、下流域の保全を図った。

整備前



建設後約50年経過しており、劣化が進んでいた...

整備後



砂防堰堤の改築により下流域人家等の保全を図った。

事例② 砂防事業 境沢 岡谷市 川岸

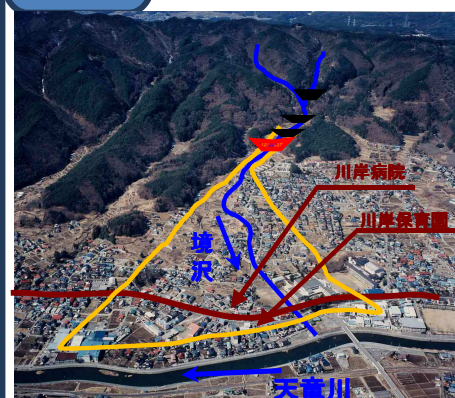
位置図



整備効果

説明:境沢において、砂防施設整備を行い、重要交通幹線である(主)下諏訪辰野線(長野県地域防災計画で一次緊急輸送路)、住宅159戸、川岸病院や川岸保育園の保全を図った。

整備前



豪雨等により発生する土石流に対して心配...

整備後



砂防堰堤の整備により人家、病院、保育園の保全を図った

整備効果事例

事例③ 地すべり対策事業 (地)茶臼山 長野市 篠ノ井

■位置図



■整備効果

説明: 茶臼山地区の対策については明治末期から実施され、平成9年に概ね完成した。地下水を排除する排水トンネル等は、鉄錆の目詰まりにより排水機能が低下していた。このため、排水トンネル等の堆積土の除去及び改築を実施し、排水機能を回復した。

整備前



排水トンネルが埋塞して、地下水が抜けないことによる地すべり再発が心配...

整備後



排水トンネルを改築し、排水機能が改善された

事例④ 急傾斜地崩壊対策事業 上竹田 山形村 上竹田

■位置図



■整備効果

説明: 現地は、山形村の北部に位置する表層崩壊や浮石が見られる斜面に対して、待受け防止柵を施工することにより、老人ホーム、家(3戸)の保全が図られた。

整備前



老人ホーム裏の斜面の
がけ崩れが心配...

整備後



待受け擁壁工により
老人ホームが保全された